

第83回渋川撮食嚥下研究会レポート

日時：令和5年8月3日（火）午後7時00分～
会場：渋川ほっとプラザ4階/W E B

I : 北関東摂食嚥下リハビリテーション研究会 先行発表
「地域における嚥下調整食の基準の統一についての取り組み」
講師 渋川医療センター
管理栄養士 高橋 正弥 氏

Ⅱ：講演「困難事例に対する口腔ケア」
講師 高崎総合医療センター
歯科衛生士 高坂 陽子 氏

以前より当研究会でも取り上げてきました「嚥下調整食についての取組み」ですが、8月19日に開催される「北関東摂食嚥下リハビリテーション研究会」で発表されることとなりました。発表を機に、当地域で参加される病院や施設が増え、継続的に活用されていくことを望みます。

さて、高坂先生には講演前に体操を取り入れていただきました。勤務後でお疲れのところ少しリフレッシュできたでしょうか。

講演では、何例もの困難事例をもとにお話いただきました。参考になった場面も多くあるのではないかでしょうか。こういった事例を聞くことで、諦めずに対応できるんだということを知ることができます。「口腔ケアは1人ではできない。チームで状況を知っていることが大事」とおっしゃっておりましたが、「最期まで自分の口から」食べるためには各職種の連携が大事なのだと改めて感じました。

参加者内訳	
職種	参加人数
医師	3
歯科医師	7(1)
保健師・看護師	10(1)
歯科衛生士	8(1)
ST・OT・PT	4
管理栄養士・栄養士	12(1)
介護支援専門員	12(9)
介護職員	1
MSW・相談員	1(1)
その他	2
合計	60(14)

カッコ内=（うち Web 参加）



背景

嚥下調整食は現在各病院／介護施設等で提供されている。
しかし、お互いがどのような食事が提供されているか知る手段に乏しく、施設間連携に支障をきたすことがしばしばある。



【講演資料より抜粋】



入れ歯がすぐ外れちゃうんですが・・・

★義歯安定剤が気管に流入した事例から
義歯安定剤の使用は注意が必要★

保湿剤(21種類)の維持力

リキッド:14.4N
スプレー:3.6N

山垣和子、北川昇、他：口腔保湿剤の物性と義歯の維持力との関係
老年歯学、第26巻、第4号、2012昭和大学歯学部高齢者歯科学教室



写真：高崎総合医療センター 高坂陽子



【次回 第84回渋川摂食嚥下研究会の予定】

開催について : 10月3日(水)午後7時 プレヴェール渋川またはオンライン
演題 「人生100年時代のお口の健康～自己管理はどこまで可能か～」
講師 エース歯科医院
副院長 須藤明子先生